





(1) 298

(2) 8083

(3) 010283

(4) ほんをよみましょう。

(5) おとうとはようちえんへいきました。

(6) にわとりがコケコッコと鳴きました。

#### 進め方

1. 大人がお題の数字や文を読む。
2. 読んだら 20 秒待つ。
3. 20 秒後に読まれた数字や文字をこどもが書く。
4. 答え合わせをする。
5. 次のお題に進み、1～4を繰り返す。

#### ねらい

現在の教育では軽視されていますが、聴く力を高めることが全ての基本です。人間は聴く力を元にして読んだり考えたりしているからです。その聴く力の中で重要な要素の1つがこの聴いたことを短期記憶する力です。「聴く」は「読む」と違い、言葉が消えてしまいます。一回で聴き取り、頭に残すことができないといけません。頭に残すことができるようになると、授業の内容も 100%理解することができます。

また、今回の問題では、低学年なので「を」と「お」、「へ」と「え」などを正しく書けるかどうかの確認もできるようになっています。

問題の指示した文型に従っていれば正解です。

<解答例>

(だれが どうする。)

わたしが たべる。

(だれが どうした。)

田中君が ころんだ。

(だれは どうする。)

お兄さんは ねむる。

(なにが どうする。)

えんぴつが おちる。

(なにが どうした。)

りんごが あった。

(なには どうした。)

ねこは いなかった。

### 進め方

1. 大人が文型に従って書くことを説明して、子どもが文を作って書く。
2. 答え合わせをする。

### ねらい

文を作る力、文を理解する力を向上させます。文を作ることができるのは、文型が身につけているからです。文の型をマスターしていくことで自由自在に文を作ることができます。また文を理解するときにも文型の理解は役に立ちます。

(1) 書かれた内容が描けていれば正解とする。  
(ハンバーグの個数は正確に描いてください。)

(2) 4、2

#### 進め方

1. 問題を読む。
2. (1) に従い絵を描く
3. 答え合わせをする。
4. (2) を解く。
5. 答え合わせをする。

#### ねらい

算数の難しい文章題では作図がうまくできるかがカギとなることが多いです。そのため、このような簡単な問題でも絵をかいてみるというのは、最初のステップとして重要です。これは図工の授業ではないので、うまく絵を丁寧に書く必要はありませんが、人が見ても意味が分かるような絵を描くことができるとよいです。